

# 東日本大震災被災地聴覚障害者向け



## 日本財団 遠隔情報・コミュニケーション支援事業

### 事業実績報告書

2011年9月11日 ～ 2013年3月10日

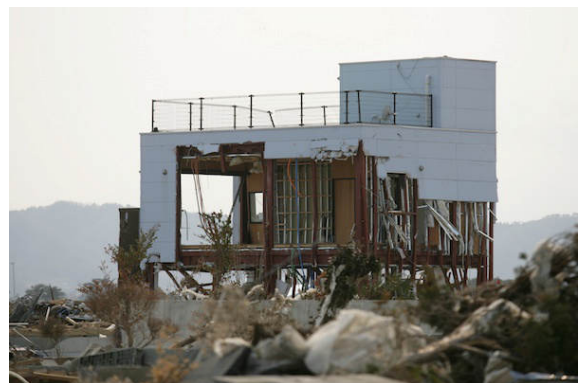
#### はじめに

2011年3月11日午後2時46分に18,550人もの夥しい死者・行方不明が出た東日本大震災が起きました。特に東北地方被災三県沿岸部においては地震と津波による甚大な被害が生じ、福島県においては原子力発電所事故の影響も重くなりました。

この震災では障害者の死亡率が全住民の2倍以上という調査結果も発表され、災害によって障害者の生命がより危険に晒されていることが明らかになっています。また、災害後の救援・復興の段階において各方面から支援の手が差し伸べられましたが、障害者は支援の手から漏れてしまうこともあり、健常者に比べ一層困難な生活を強いられるケースも多くありました。

聴覚障害者への災害支援を実施する場合には、まず聞こえないことによって生じるコミュニケーションの困難を取り除くために、手話通訳や要約筆記などの支援が同時に必要になります。しかし、それらの支援を担う通訳者等が東北地方では絶対的に不足しており、また被災地においては通訳者自身も被災者であるため、満足な支援活動を行えない状況にありました。

このような状況に鑑み、日本財団は岩手県、宮城県、福島県の聴覚障害者が手話通訳やパソコン要約筆記の支援を受けられるように、情報通信技術を活用した「遠隔情報・コミュニケーション支援センター」を2011年9月11日に東京港区の日本財団ビル内に開設し、現在も支援を継続しています。



この報告書は2011年9月11日～2013年3月10日まで1年半の活動記録です。

## 【事業概要・目的】

東日本大震災において津波などの被害が大きかった県（宮城、岩手、福島）の聴覚障害者を対象に、以下の遠隔情報・コミュニケーション支援を実施することにより、聴覚障害の被災者の情報アクセスとバリアフリー化を図る。本事業の展開により、我が国ではまだ普及していない遠隔通訳という先駆的なモデルの普及を促すような、復興支援を目指す。

- (1) 被災地の公共施設での聴覚障害者の遠隔手話・文字通訳支援
- (2) 聴覚障害者のための代理電話支援
- (3) 臨時災害 FM 放送の文字通訳支援

## 【事業に至る背景】

事業対象の県にて障害者手帳を保持している聴覚障害者は以下の通り。

	聴覚障がい者の数
岩手県	5,391 名
宮城県	6,130 名
福島県	7,761 名

しかし、東北地方では、手話通訳技能認定試験に合格し、手話通訳士として活動している通訳者の数が都市部に比べて非常に少ない。

参考： 各県の手話通訳士数は、以下の通り。

岩手県 17 名、宮城県 22 名、福島県 44 名

東京都は 606 名、神奈川県 288 名、埼玉県 168 名、全国では 2,603 名

(上記、数値人数については 2010 年度時点調べ)

また被災地も広範囲に渡るため、各市町村の地方自治体において手話通訳者が圧倒的に不足している。行政による従来の派遣制度もあるが、市町村からの要請ベースで対応しており、復興局面に入った今も、様々なニーズに十分応えられていないのが現状である。

※復興局面に入った時点で、各種証明書発行、求職活動、住宅再建、通院など様々な場面で通訳が必要になる。

※アナウンスや放送などの音声による緊急性を有した情報が得られず、救援物資を受け取り損ねたり、仮設住宅申し込みが遅れたりという問題が発生。



## 【事業内容】

- ・携帯端末（テレビ電話）による遠隔手話・文字通訳と代理電話サービス
- ・文字による情報発信（臨災 FM などの文字配信、Twitter 及びウェブに掲載）
- ・各市町村への協力の呼びかけ（機器設置や聴覚障害者関連の情報開示など）

## 【事業対象者】

- ・ 宮城県、岩手県、福島県在住の聴覚障害者  
（三県以外の方の場合は「り災証明」保持者）
- ・ 上記 3 県の市町村福祉課、病院など公共施設を対象

参考：3 県の市町村総数

	市町村数
岩手県	35 カ所
宮城県	35 カ所
福島県	59 カ所

## 【支援事業について：事業主体】

日本財団 公益ボランティア支援グループ聴覚障害者支援特別事業チーム  
 住所 〒107-8404 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル  
 連絡先 TEL：03-6229-5181／FAX：03-6229-5180

## 【事業実施場所（施設）】

名称 東日本大震災被災地聴覚障害者向け  
 日本財団 遠隔情報・コミュニケーション支援センター  
 住所 〒107-8404 東京都港区赤坂 1-2-2  
 日本財団ビル 2 階  
 〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町 1 丁目 8-14  
 仙台協立第二ビル 8 階  
 〒151-0071 東京都渋谷区本町 3-10-3  
 清水橋矢部ビル 12 階  
 連絡先 TEL: 0120-522-499／FAX:0120-522-899  
 メール：nf-support@plusvoice.jp



【事業 PR のパンフレット】

## 【支援（情報保障）の方法】

### ①遠隔通訳支援

被災地の市町村に通訳端末を設置し、リアルタイムで手話・文字チャットで遠隔から通訳を行いました。

耳や言葉が不自由な方が公共施設窓口を訪問された場合、窓口の方が話される内容（お問い合わせ、相談事や諸種申請の手続き方法など）をタブレット端末を通して、手話・遠隔字幕送信により通訳・情報保障を行いました。手話によるコミュニケーションを必要とされる方、難聴の方で口話が読み取りにくい場合や、筆談では時間がかかる場合などに活用していただきました。



[テレビ電話による手話通訳支援]



[字幕送信による文字通訳支援]

### ②代理電話支援

避難所、仮設住宅、自宅から聴覚障害者が、何処にでも電話が出来る仕組みです。

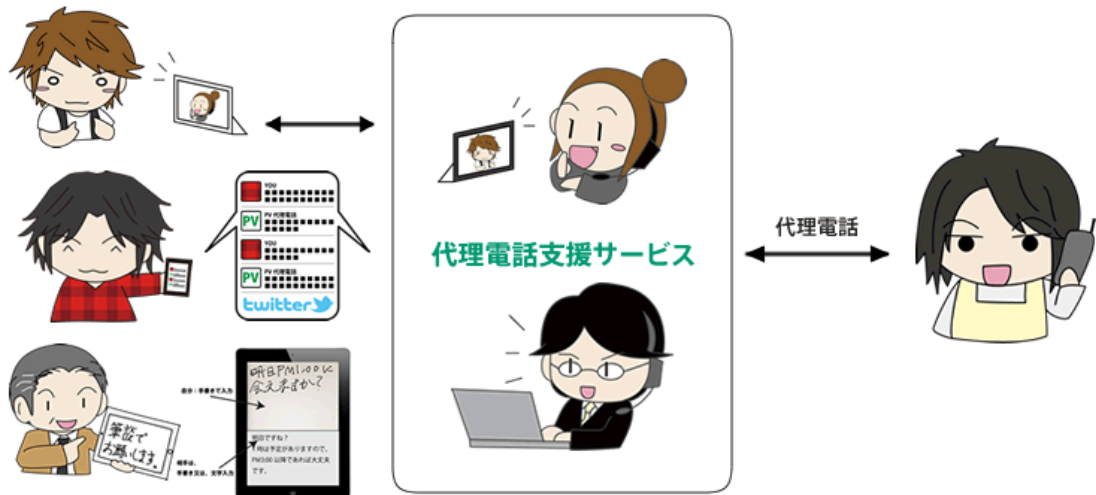
耳や言葉が不自由な方がどこかに電話で連絡を取りたいときに、テレビ電話や FAX・メール・チャットなどでいただいた内容をオペレーターが相手先に音声電話でお伝えします。

音声電話しか連絡先が書いていない問い合わせや、手話がわからないご家族、ご友人、お仕事の関係先への連絡、メール・FAX では遅延が生じて連絡が取りにくい場合などにご活用していただきました。リアルタイムでスムーズな意思伝達が可能で、非常に便利です。

※通訳料は無料。ただし、当センターにご連絡いただく際の通信料・通話料・プロバイダー利用料はお客様負担として実施。

※待受端末：

- ・ Windows PC・・・Microsoft MSN Messenger (テレビ電話・文字チャット)  
Skype(テレビ電話・文字チャット)／Yahoo! メッセンジャー(文字チャット)
- ・ Mac PC(iPad 含む)・・・FaceTime(テレビ電話)／Skype(テレビ電話・文字チャット)
- ・ TV 電話専用端末・・・NTT 東日本フレッツフォン(フレッツドットネット)／TeleBB
- ・ PC・携帯端末からの E メール
- ・ FAX



[代理電話のイメージ図]

③臨時災害 FM の文字起こし

2011年12月12日より、宮城県山元町「りんごラジオ」の中の山元町の情報の時間（平日お昼12時～/17時～、土日祝日 お昼12時～）を録音し、文字起こしをし、ツイッターにより送信。およびまとめページに掲載。聴覚障害者への情報保障を行いました。

なお、同様にみやこ災害 FM にも提供の予定でありましたが、放送時間が長く文字起こしにコストがかかり過ぎるため断念。

この他に、臨時災害 FM 各局を訪問し、「聴覚障害者に音声情報が届いていないので、ラジオを聞いている人に聞こえない知り合いがいた場合に、情報を届けてあげてください」という呼びかけの放送に協力していただくように依頼を行いました。

[宮城県山元町臨時災害 FM 「りんごラジオ」のスタジオ]



[情報配信をしている Twitter]

## 【事業の経過】

2011年

### 9月9日 開設記者発表

日本財団ビル内の大会議室において、報道機関向けの「東日本大震災被災地聴覚障害者向け日本財団 遠隔情報・コミュニケーション支援事業の設立趣旨及び概要説明会」を開催。説明は吉田職員が行いました。

吉田職員自身も聴覚障害者であり、「被災地支援にとどまらず、聴覚障害者のコミュニケーションサポートに関する隠れているニーズを掘り起こして欲しい」と言った言葉も出るなど、本事業への思い入れの強さも感じ

られる説明でした。概要説明の後にデモを行い、また実際に通訳活動を行うブースの見学をしていただきました。報道機関の方に加え聴覚障害者関係団体の方も足を運んで下さり、非常に熱心に質問をされていたことに、本事業の関心と期待の高さがうかがえました。



【事業開設の説明をする吉田職員】

### 9月11日 支援センター開設・支援事業開始

東日本大震災から半年にあたる 2011年9月11日（月・祝）、支援事業を開始いたしました。

### 10月5日 フリーダイヤルを設置

お問合せや登録者の方が気軽に利用できるように電話/FAXにそれぞれフリーダイヤルを設置。



【開始時の支援センターブースの様子】

### 10月15日 Facebook ページ、Twitter を開始

広報の手段として、Facebook 上にページを開設。それと同時に短文投稿サイト Twitter のアカウントを設けました。



【支援センターの Facebook ページ】

## 11月4日 JDF岩手に最初の遠隔通訳支援端末設置

JDF岩手の「東日本大震災被災障がい者支援いわて本部」に遠隔通訳端末を設置致しました。9月22日の開所式に参加させていただき、聴覚障害者支援のための端末設置を約束しており、この日のついに設置の運びとなりました。

本事業において初の遠隔通訳端末の設置です。さっそく聴覚障がい者の訪問があるとのことで、最初の試験も兼ねてご利用いただきました。

なお、同日別のスタッフが宮城県ろうあ協会にも訪問し、宮城県ろうあ協会事務所にも遠隔通訳支援端末貸与を行うことが決定致し、お渡しをいたしました。



[JDF 岩手担当の三浦様]

## 11月10日 岩手県立視聴覚障がい者情報センターに遠隔通訳支援端末設置

盛岡にある、岩手県立視聴覚障がい者情報センターに支援端末を設置いたしました。こちらの視聴覚障がい者情報センターには設置通訳者がいらっしゃるのですが、「いろいろなニーズもあることだし」ということで了解をいただき、所長の鈴木様にも「ここに来た方に支援事業のことを宣伝してあげるよ」という暖かいお言葉もいただきました。

こちらからは、立ち寄ったら必ずアクセスをいただくほど遠隔通訳を気に入っていただける方が出てきました。

## 11月10日 岩手県洋野町種市庁舎／大野庁舎に遠隔通訳支援端末設置

洋野町町役場である種市庁舎と大野庁舎に支援端末を設置致しました。

設置した当日、さっそく聴覚障害者の来庁があり、遠隔通訳をご利用いただきました。来庁された方も「これは便利だ」と喜んでおられました。

11月22日には町長にもご挨拶に伺い、遠隔によるコミュニケーション・通訳を体験していただきました。この遠隔情報支援は既存の通訳支援とは少し違って新しい仕組みとなる

ものですが、そうした新しいものだと「他の所で結果が出てから」というような形で様子見を決め込むところが多い中、洋野町は地方自治体としては一番に導入を決定されました。担当の部署だけでなく、自治体の長である町長にも関心をしめしていただけたところに、一番最初に導入を決定された町の姿勢が表れていると思います。

設置することにより、微々たるものでも聴覚障害者の暮らしがよくなるということにご理解頂けていることが、聴覚障害者に対してもそうですが、他の障害者や、町民のことを第一に考えておられる様子が伺えました。



[洋野町水上町長、福祉課粒来主事と共に]

## 11月15日 岩手県久慈市役所に遠隔通訳支援端末設置

久慈市は先日端末を設置した洋野町の南側に位置し、津波でいくつもの施設が流されるなど、甚大な被害のあったところです。久慈市役所でも非常に好意的に接して下さり、聴覚障害者が来庁の際には役立てたいとおっしゃっていました。役所への設置端末としては2カ所目。久慈市役所の方々にもこれからの広がりを期待したいとお声をいただきました

## 12月2日 宮城県石巻市長へ（市役所に）

### 遠隔通訳支援端末の貸与（設置）

尾形理事長と石井グループ長が石巻市を訪問し、亀山市長、吉田福祉部次長兼社会福祉事務所長、久保障害福祉課長にお会いしました。

日本財団は東日本大震災の被害の大きかった石巻市において救援・復興のため多くの支援を行っているため、これまでも石巻市とは密接に連携を取りながら事業を進めていました。また、聴覚障害者支援は日本財団の重点テーマのひとつでもあることから、理事長自らが市長に協力を要請しました。



[石巻市亀山市長と尾形理事長]

本事業の説明と共に、遠隔手話通訳と遠隔文字通訳のデモンストレーションを行い、

- (1) 市役所と支所への機器設置
- (2) 石巻市の聴覚障害者約450人への遠隔情報・コミュニケーション支援事業の周知
- (3) 日常生活用具としての認定

の三点を要請しました。宮城県での支援端末設置は初めてとなりました。

## 12月7日 岩手県釜石市役所と大船渡市役所に遠隔通訳支援端末設置

石井グループ長が釜石市役所と大船渡市役所を続けて訪問し、事業と支援端末設置についてのご説明をさせていただきました。どちらの自治体の担当者の方もご理解をくださり、即日で端末設置が決定いたしました。



[釜石市役所の担当者の方々]



[大船渡市役所の担当者の方々]



## 12月11日 宮城県山元町の臨時災害FM

### 「りんごラジオ」の文字起こしを始めるご挨拶に

復興に向けての地域の情報は臨時災害放送が発信しています。音声メディアは耳の不自由な方に情報が届きません。この情報を文字にして聴覚障害者に届けることができないか？ こんなお話しを元 TBC 東北放送のアナウンサーで、現在宮城県山元町の臨時災害 FM「りんごラジオ」でメインパーソナリティを務めていらっしゃる高橋厚さんにお話しをさせて頂き、りんごラジオの音声データを文字化し Twitter で情報発信をさせて頂くことになりました。音声の文字起こしは遠隔支援センターのオペレーターが行い、この翌日（2011年12月12日）から配信を開始いたしました。

## 12月12日 岩手県陸前高田市役所に遠隔通訳支援端末設置

陸前高田市を訪問し、遠隔通訳支援端末を設置しました。瓦礫はきれいに片付けられて、ブルドーザーで整地されていきました。本当にすべてを飲み込んでしまった海。この地の再建はこれから始まります。市役所の手話通訳者が被災されました。通訳者がいない状況で支援端



[陸前高田市役所の担当者の方々]

末に対する期待の言葉を頂きました。命を落とされた通訳者様の地元障がい者に対する思いを大切にスタッフ一同、気を引き締めて役割を果たしていきたいと思っています。陸前高田ではこの後、ろうあ者相談員の方にも支援端末を持っていただき、市役所の外での通訳ニーズにも応えていけるような実証実験を行いました。

## 12月14日 岩手県ろうあ協会に遠隔通訳支援端末貸与

岩手県ろうあ協会に石井グループ長と吉田職員が訪問し、遠隔支援事業の説明と協力を依頼しました。実際に遠隔支援事業の内容を実感していただくため、接続のデモを行い、その後、今後の普及や他団体との交渉やイベントなどで活用していただけるよう、支援端末を貸与いたしました。活用と共に、会員みなさまにお知らせいただけるようお願いしました。これで支援端末の設置、貸与先は10カ所目となりました。

## 12月22日 福島県聴覚障害者協会にて遠隔通訳支援端末貸与と事業説明

福島県は佐藤知事の要請によりソフトバンクからiPhone端末を提供いただくなどして、端末の配布に聴覚障害者協会とは震災後には連絡を取り合っていたのですが、この遠隔情報支援事業が開始された時点ではまだ連絡をいただけていませんでした。

少し時間が経ってしまいましたが、福島県聴覚障害者協会を訪問してお伺いしたところ、従来の通訳派遣事業への影響を考慮しておられるようでした。誤解をされる場合が多いのですが、この遠隔情報支援事業は従来の通訳派遣事業と補完関係にあるものと考えています。

たとえば現在の派遣事業では短時間の利用やいくつかの場所にまたがる通訳などには利用をためられる場合があります。そういった時にはこの遠隔通訳の機能が存分に発揮されます。逆に、依頼者の話をじっくり聞いたり、長時間にわたる通訳などは遠隔通訳の体制としては難しい部分があります。

そうしたお互いの短所を補い長所を活かした使い方ができれば、聴覚障害者の生活にとってよりよいサービス体制が築けるものと思っています。

こうしたお話を役員の方や、専従通訳の方にじっくりさせていただき、理解を得られることができ、今後遠隔支援事業を多くの人に広げる為の協力をしていただけることになりました。



[福島県聴覚障害者協会の皆さんと]

## 2012年

### 1月14日 宮城県気仙沼福祉支援カフェ NONOKAにて事業説明会

気仙沼市南が丘の仮設店舗「福幸小町」にある福祉支援カフェ NONOKA で遠隔支援事業の説明会を開催しました。

聴覚障害者 6 名にお集まりいただき、事業の内容と代理電話／遠隔通訳の使い方を説明。それぞれに必要な方には iPad、iPhone をお渡しし、テレビ電話などのコミュニケーションをお試しいただきました。



[福祉支援カフェ NONOKA にて説明会]

仮設住宅にお住まいの方は、家財が一切流されてしまって FAX も家に設置されていない方もいらっしゃいます。支援端末を持つことでそうした根本の部分からお手伝い出来る方もまだまだいらっしゃいます。いろんな方法で生活上のコミュニケーション支援をしていければと考えていきました。

### 1月20日 福島県聴覚障害者調査説明会に参加

福島県において県庁と東日本大震災聴覚障害者救援中央本部による合同の聴覚障害者への実態調査が行われるとのことで、その説明会が開催され、その説明会に参加してきました。

本事業を説明の上、本来はその調査において遠隔通訳を利用させていただくつもりだったのですが、とりあえず調査段階においては通訳者が確保できていることなどから、今回は遠隔通訳の利用は見送られることとなりましたが、説明会后にいろいろお話をさせていただくと、「相双地域では通訳者が空白地帯になっているから、役所などへの端末設置を早急にお願いしたい」という要望をいただいたりなど、事業に対する期待の言葉もいただきました。

## 1月22日 岩手県アイナの「みみフォーラム」にて事業説明会

岩手県立視聴覚障がい者情報センターも入所している盛岡のアイナという複合施設で開かれた、「みみフォーラム in アイナ」に出展し、来場者に対し事業説明と利用登録の募集を行いました。



[みみフォーラムでの様子]

本事業の展開において初のイベントへの出展。雪のせいかイベント自体の聴覚障害者の参加がちょっと少なかったのかな、という感じはしましたが、その分、来られた方に丁寧な説明ができたのでは、と思います。いつもは東京にいるオペレーターの小久保、小林も、聞こえない方と生き生きと話をしていました。

## 2月4日 宮城県仙台市にて事業説明会開催（主催）

仙台市福祉プラザにて遠隔情報支援の事業概要とサービス利用についての説明会を行いました。

代理電話の利用に関しては、「テレビ電話がないと使えない」とか「パソコンを持っていないので利用できない」というように、若い人が使えばいいのでは？と思われがちなのですが、そうではなく、「普段お使いのFAXや携帯のメールでも使えます！」ということを理解してもらうことや、どんな年代の方も便利に使えるんですよ、ということをお話させていただきました。日頃から代理電話サービスを



[仙台での説明会の様子]

活用頂いている、高橋さん、工藤さんには体験を通じて皆さんに活用を呼びかけていただきました。質問もたくさん寄せられて、支援活動を知って頂く意義のある説明会になりました。

## 2月5日 福島県郡山市にて福島県聴覚障害者協会原点講座

### ・福島県中途失聴・難聴者協会の拡大三役会にて事業説明会

## 2月6日 宮城県立聴覚支援学校へ遠隔通訳支援端末を貸与

宮城県立聴覚支援学校にお伺いし、事業についての説明を行い、学校に支援端末を設置していただくことにしました。学生のうちにこうしたコミュニケーション端末を使いこなすこと、また情報提供支援サービスの使い方を覚えておけば、情報格差の解消に役立つとの思いから設置をお願いしました。生徒達に覚えてもらう前にまずは先生から、ということで先生方に利用方法を説明させていただきました。

## 2月7日 福島県新地町役場、相馬市役所、南相馬市役所に遠隔通訳支援端末設置

福島県相双地域の役所（新地町役場、相馬市役所、南相馬市役所）に遠隔通訳支援端末が設置されることとなりました。



[南相馬市役所社会福祉課  
障がい福祉係の窓口]

## 2月7日 福島県いわき市にて 事業説明会開催

## 2月16日 宮城県被災聴覚障害者情報支援センター（みみサポ）に

### 遠隔通訳支援端末設置



[みみサポみやぎの職員さんと接続テスト]

みみサポみやぎは「東日本大震災により被災した聴覚障害者（ろう者、中途失聴者や難聴者など）の生活再建に向けた、相談支援や情報の発信を行います。聴覚障害者が地域の中で安心して暮らすための環境づくりを一緒に考え、お手伝いをします。」ということで、震災支援や生活支援という面でも遠隔情報支援事業と共通する部分で、こちらとしてもいろいろとお役に立てる部分もあり、また逆に相談支援などの面は頼りにさせていただきたい部分でもあり、お互いに協力し合いながら聴覚障害者の支援をしていきたいと思いますという話になりました。

## 2月19日 福島県相馬市聴覚障害者協会での事業説明会

相馬市総合福祉センターにて開かれている相馬市聴覚障害者協会の会合にお伺いし、遠隔情報支援事業についての説明とデモを行いました。

新地、相馬市、南相馬市の相双地域の各役所に支援端末を設置してきたことに、みなさん一様に感謝の言葉を述べてくれました。

支援端末についても、積極的に活用していただくことが、市町村などに要望として伝わっていくことになるので、ぜひお互いに協力をしてサービスを拡充していこう、という話をさせていただきました。



[“日本財団”の手話表現を披露]

## 2月22日 宮城県松島町へ遠隔通訳支援端末設置

福祉課障害者担当の赤間主査から事業について詳細を聞きたいとのことでお伺いしました。赤間さんは現地の聴覚障害者とも頻繁な交流があり、この支援事業についての情報を得て、聴覚障害者に役に立つものであれば導入を検討したいと思ったということで連絡をいただいたようです。聴覚障害者の実状を知る担当の方にお話を聞いていただいたので、非常にスムーズに支援端末の設置も決めていただき、また「高齢者には耳の遠い方もいるので、介護認定の訪問調査などの時にも使えるのではないか」といった活用事例までご提案いただき、とても積極的に活用の意向を示していただきました。

## 2月25日・26日 日本テレビ『news every.』の取材

被災地で津波の被害に遭われた聴覚障害者の現状を取材するというので、当センターにご登録いただいている気仙沼市にお住まいの2名の聴覚障害者の方から取材の許可をいただき、2日間にわたる取材が行われました。

取材に来たのはなんと NEWS の小山君。彼が担当している日本テレビの『news every.』で放送する内容の取材のでした。

25日（土）は雪の舞う中撮影がスタート。取材対象のお一人、渡辺さんの働いていた職場のあった海岸部で、震災当日の様子や、職場のこと、今の状況などをお話していただきました。



小山君は手話ができるので、聴覚障害者への取材も自らの手話で行っていました。が、渡辺さんの方が若いアイドルを目の前にして緊張していましたが、少しずつ話をするうちに徐々に緊張もほぐれ、時間が経つに連れ手の動きもなめらかになっていきました。海岸から場所を移動して、渡辺さんのお宅に伺い、その後、当センターもお世話になっている、気仙沼の聴覚障害者がよく利用している、気仙沼南が丘の仮設店舗“福幸小町”にある「福祉支援カフェ NONOKA」へ行き、他の聴覚障害者の方とも合流。NONOKA に設置してある支援端末で当センターに接続し、小山君にテレビ電話を体験してもらったり、また渡辺さんに代理電話を利用したりしていただいている様子を撮影しました。



翌26日は、もう一人の方、齋藤さんの取材。この日は天気もよく晴れていました。齋藤さんも、職場近くの海岸へ行き、仕事のことなどを取材。そして津波で流されてしまった自宅跡に伺い、震災当日のことをお聞きし、そして現在お住まいの仮設住宅に伺い、今の状況や今後のことなどをお話していただきました。

齋藤さんの取材では、ちょっと涙してしまうようなお話もありました。

齋藤さんの取材では、ちょっと涙してしまうよ

この内容は3月14日に全国ネットで、3月16日にミヤギテレビにて放送されました。

### 3月4日 岩手、宮城、福島3県の耳の日イベントに出展して事業説明

[第34回耳の日記念 岩手県福祉大会]



[宮城県/第47回耳の日記念 手話祭り]



[耳の日記念第32回福島県ろうあ者福祉大会]



各県ともブースの運営で手一杯で大会そのものを見ることができず少し残念ではありましたが、盛大な催しに参加させていただき感謝しております。

支援センターの方で待機していた中村、佐藤、本庄谷もいろんな方とお話をさせていただき、楽しい一日を過ごすことができました。

### 3月5日 宮城県山元町役場に遠隔通訳支援端末設置

山元町には2月中旬に山元町の保健福祉課の担当の方に、遠隔情報支援事業について説明させていただき、課内で協議した結果、非常に興味を持っていただき、まずは保健福祉課の方に一台支援端末をお貸しすることとなりました。

山元町は我々も臨時災害FMの「りんごラジオ」の文字起こしをするなどしていて、スタッフも毎日ラジオを聴いているので離れているけれどなじみの深い町となっています。この支援端末設置の件も、ラジオでPRしてもらえるように原稿をお渡ししてお願いをしてきました。



[山元町保健福祉課の窓口にて]

### 3月18日 岩手県大船渡市で事業説明会

### 3月18日 宮城県登米市で事業説明会

### 3月25日 岩手県ろうあ協会にて事業説明会

### 4月11日 宮城県仙台市太白区にて事業説明会

#### **4月23日 東北ローリング大作戦開始**

さらなる利用登録者の増加と、認知度向上のため、「東北ローリング大作戦」と名付け、本事業の対象地である岩手、宮城、福島の市役所や社会福祉協議会、福祉関連の公共施設、仮設住宅集会所、補聴器屋さん、手話サークルなど、聴覚障害者（聞こえない、聞こえにくい方々）が関わっている所へ、直接我々の事業や人となりを知っていただこうと、訪問させていただきました。

2ヶ月間で約300カ所の場所・人への訪問するPR活動となりました。

#### **4月29日 茨城県日立市聴覚障害者協会にて事業説明会**

日立市聴覚障害者協会の会員の方を中心に33名様もの方にお集まりいただき説明会を開催。この説明会によって、日立市近隣の地域の方からも説明会実施のご依頼をいただきました。茨城県は本事業の対象地域外としていましたが、太平洋沿岸部で震災の被害を受けた地域も多々あり、災害証明を所持する今回の支援事業の対象となる方がたくさんいらっしゃるのことでした。災害情報を手にする際に、聞こえない方々はまだまだ不便な状況にあります。そうした情報障害を取り除くという活動に力点を



〔日立市での説明会の様子〕

をおいて支援していくための事業として活用して頂くように理解していただきました。

#### **4月30日 南相馬災害FMにて手話シンガーの水戸真奈美さんの協力を得てPR**

#### **5月7日 しおがまさいがいFM 「BAY WAVE」にて**

##### **聞こえない人に情報提供を呼びかける原稿を読んでもいただきました**

事業の概要や聞こえない方の情報に対する潜在ニーズの話などをし、「大切な情報ですね」とおっしゃって頂き、こちらが用意した事業紹介と聞こえない人への情報提供を呼びかける原稿を「朝、昼、夕方生の放送の時間に早速読みましょう」と快諾頂きました。訪問時は、パーソナリティーの渡辺恵美さんが生放送中でしたが、ブースの撮影をさせていただきました。（ちなみに本事業とは別になりますが、日本財団の支援で、放送ブースを改修できたとの事でした。）



〔塩釜 BAY WAVE のスタジオ〕

#### **5月10日 岩手県花巻市役所へ遠隔通訳支援端末を 設置**

#### **5月18日 岩手県普代村役場に遠隔通訳支援端末を設置**

## 5月22日 宮城県亶理町役場に遠隔通訳支援端末を設置

### 亶理町臨時災害 FM にて

#### 遠隔通訳支援端末の設置お知らせと事業 PR



福祉課福祉班の佐藤副班長に支援事業についてご説明をし、役場内で審議した結果、支援端末を設置することにしたのでということで設置をしてきました。

町役場によると7月1日付けの町の広報にて広く町民にPRされるとのことでしたが、こちら一足先に多くの方に知っていただきたいと思い、これまで何度か訪れている、亶理町の臨時災害FM、「FM あおぞらさん」にお邪魔してさ

っそくPR。そうすると、「生放送でお話しませんか？」という願ってもないお時間をいただき、18時からの放送で支援端末設置のことや事業についてPRさせていただきました。

前に訪問したときにお受け取りいただいた「聞こえない方に情報提供を呼びかけること」についての文章も、その後すぐに放送で取り上げていただいたりなど、FM あおぞらさんにはご理解とご協力をいただきました。

## 5月28日 福島県福島市 地域活動支援センター「なのはなの家」にて説明会

特定非営利活動法人「福島市聴覚障害者福祉会」 地域活動支援センター「なのはなの家」様へ渡部、小久保がお邪魔し、事業説明をさせていただきました。13名程の方にお仕事を中断して話を聞いて頂きました（お仕事の手を止めてしまってすみません）。

所長の阿部光男様をはじめ職員の方々にも温かく迎えて頂き、誠にありがとうございました

## 6月9日、10日 京都で行われた『第60回全国ろうあ者大会』

### に付随するバリアフリー展に出展

「東北三県で行っている事業のことを、わざわざ全国で話をしても意味がないのではないかな？」という話もありましたが、この2日間、出展しているいろんな方にお話させていただき、支援対象となっている三県の方々とはまた違った見方や、あるいは「じゃあ今後どこかで同じような災害が起きたらどうするのか？」など、貴重な意見、問題点の指摘なども率直に話してくださる方がいて、とても有意義な時間をすごさせていただきました。今回出展してみて、他の地域の方もこの事業があることを知っていること、そして少しでも話題の端にのぼれば、それがまた口コミのように実際に必要としている地域にも広がっていくのではないかと思います。



全国の方にこのような事業をやっていることをPRできましたし、やはり最後には「頑張ってください」と多くの方から励ましの言葉をいただき、力を与えていただきました。



6月22日 いわき市サンアビリティーズにて

「いわき聴力障害者会」役員の方の会合にて説明会。

6月24日 ひたちなか市総合福祉センター

で説明会を行いました。



[ひたちなか市での説明会の様子]

6月29日 福島県田村市船引公民館で、

説明会を行いました。

7月5日 せんだいメディアテークに遠隔通訳支援端末設置

個人で遠隔通訳を利用していただいている方がメディアテークに行かれた際に、タブレット携帯端末を使って遠隔通訳するのを、メディアテークの職員の方が見ていて「これは、便利だ!」と思って興味を持っていただいたことから、設置のお話しが決まりました。

設置場所は当初1階の総合受付カウンターにありましたが、字幕入りビデオの貸し出しを行っている2階の映像ライブラリの方が利用が見込まれるということで移動になりました。

7月15日 宮城県聴覚障害学生の方々に説明会を開催



[熱心に話を聞いてくれた学生さん達]

本事業はITを活用した情報保障を行うサービスなので、ITを駆使する学生さんにはとても便利に使ってもらえるはず、と思ってコンタクトを取り、10名の学生さんに参加していただき、iPadを使ってビデオチャットを利用した代理電話の利用など、いくつかのシーンに合わせて体験していただきました。みなさん、今までこうしたサービスを知らなかったようで、一様に「参考になった」「使ってみよう」との声を頂戴しました。結果、7名の方に登録をしていただきました。いままで10代の登録者はいなかったので、初の10代登録者となりました。

8月2日 福島県白河市に遠隔通訳支援端末を設置

市役所内ではあちこちの課でも要望があるらしく「他の課でも使えますか?」との質問が一応、担当の課を決めていただいておりますが、市役所全体で使っていただけるものです。

8月6日 仙台市民活動サポートセンターに遠隔通訳支援端末を設置

これまでは自分たちで筆談でやりとりをしていたが、遠隔通訳支援端末を使えば相手が言いたい事や今まで言えなかった気持ちの部分なども聞けそう、とスタッフのみなさんからのお声がありました。

## 8月13日 2013年3月31日まで事業延長が決定

支援事業について、登録利用者からは継続希望の声も多く、この日、支援事業の終了が2012年9月10日から2013年3月31日まで延長されることが決定し、端末設置をした機関、および登録者にお知らせをしました。

## 8月22日 福島県田村市、二本松市の市役所に遠隔通訳支援端末の設置



[田村市保健福祉部介護福祉課の窓口]



[二本松市福祉部福祉課（障がい福祉係）]

## 9月11日 支援事業2年目に

## 12月7日 三陸沖地震での情報提供

この日、17:18頃、三陸沖を震源とする東北地方から関東にかけて最大震度5弱を記録する広く大きな揺れを感じる地震が起きました。津波警報も出される中、情報支援センターでは、テレビ、ラジオ、インターネットの情報やTwitterを使って情報収集。文字情報による聴覚障害者向けの情報配信を行いました。今回の経験から、文字情報は非常に多く発信されていて全国からたくさんの支援がある事がわかりました。発信する側、聞く側の情報整理の必要性という今後の課題を感じながらも、たくさんの方々の情報支援を心強く感じました。



[地震のニュースと情報収集をするスタッフ]

2013年

## 3月10日 震災2年の総括と共に平成25年度も事業継続を決定

## 【利用データ（実績）】

### 日本財団 遠隔情報・コミュニケーション支援センター 利用実績

2011年9月11日～2013年3月10日まで

#### 登録者

PV既存ユーザー	57名	岩手県1名、宮城県56名
新規登録者	237名	岩手県34名、宮城県97名、福島県77名、その他(茨城県・栃木県)29名
端末設置窓口	28ヶ所	岩手県11ヶ所、宮城県10ヶ所、福島県7ヶ所

#### 登録者世代構成

10代	1名
20代	25名
30代	33名
40代	52名
50代	74名
60代	60名
70代	24名
80代	6名
不明	19名
合計	294名

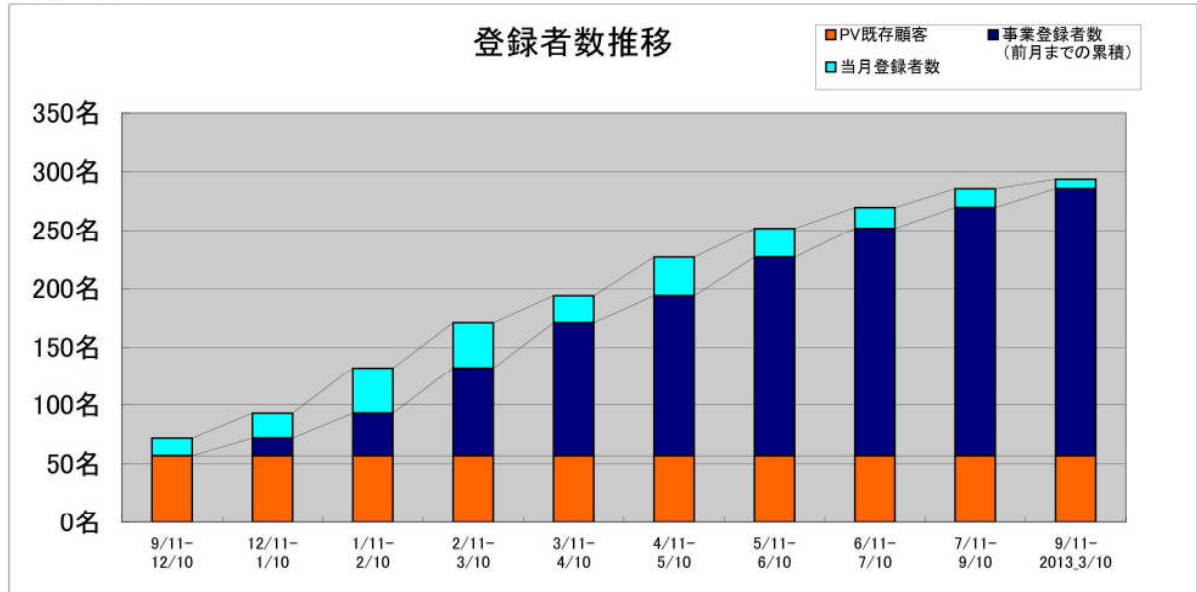
代理電話利用件数	FAX	メール	チャット	テレビ電話	対面
3637件	1003件	737件	61件	1811件	25件

窓口／遠隔通訳 利用件数	手話対応	文字対応
213件	210件	3件

窓口支援貸与端末利用件数	件数
JDFいわて	1件
宮城県ろうあ協会	57件
洋野町種市庁舎	3件
洋野町大野庁舎(※2012年5月10日撤去)	0件
岩手県立視聴覚障がい者情報センター	16件
久慈市役所	3件
石巻市役所	14件
釜石市役所	0件
大船渡市役所	0件
陸前高田市役所	4件
岩手県ろうあ協会	1件
福島県聴覚障害者協会	0件
仮設福祉カフェNONOKA	3件
宮城県立聴覚支援学校	4件
新地町役場(※2012年5月22日撤去)	0件
相馬市役所	5件
南相馬市役所	4件
みみサボみやぎ	2件
松島町役場	1件
山元町役場	4件
花巻市役所	1件
普代村役場	0件
亘理町役場	5件
せんだいメディアテーク	0件
白河市役所	8件
仙台市民活動サポートセンター	5件
田村市役所	6件
二本松市役所	1件
計	148件

※代理電話での利用も含む

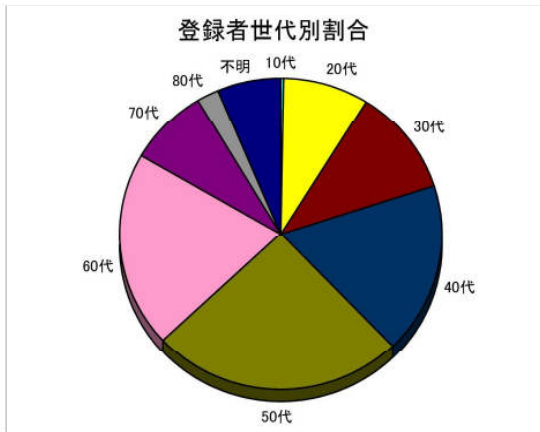
登録者数推移



	2011		2011/2012							2012/2013
	9/11-12/10	12/11-1/10	1/11-2/10	2/11-3/10	3/11-4/10	4/11-5/10	5/11-6/10	6/11-7/10	7/11-9/10	9/11-2013.3/10
当月登録者数	15名	21名	39名	39名	23名	33名	25名	18名	16名	8名
事業登録者数 (前月までの累積)		15名	36名	75名	114名	137名	170名	195名	213名	229名
PV既存顧客	57名	57名	57名	57名	57名	57名	57名	57名	57名	57名
登録者数 (合計)	72名	93名	132名	171名	194名	227名	252名	270名	286名	294名

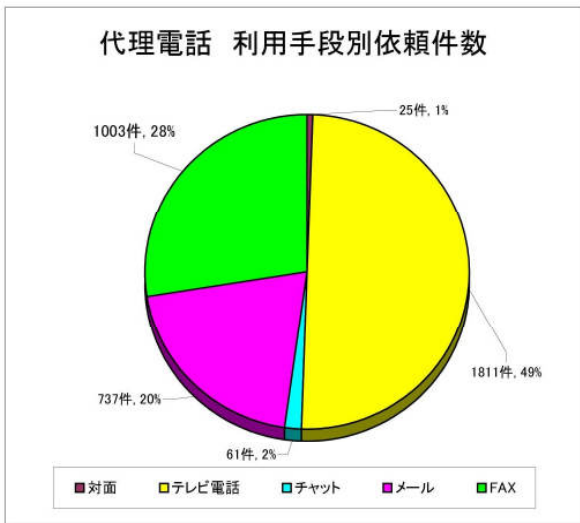
登録者世代構成

登録者世代構成	人数	割合
10代	1名	0.3%
20代	25名	8.5%
30代	33名	11.2%
40代	52名	17.7%
50代	74名	25.2%
60代	60名	20.4%
70代	24名	8.2%
80代	6名	2.0%
不明	19名	6.5%
合計	294名	100.0%

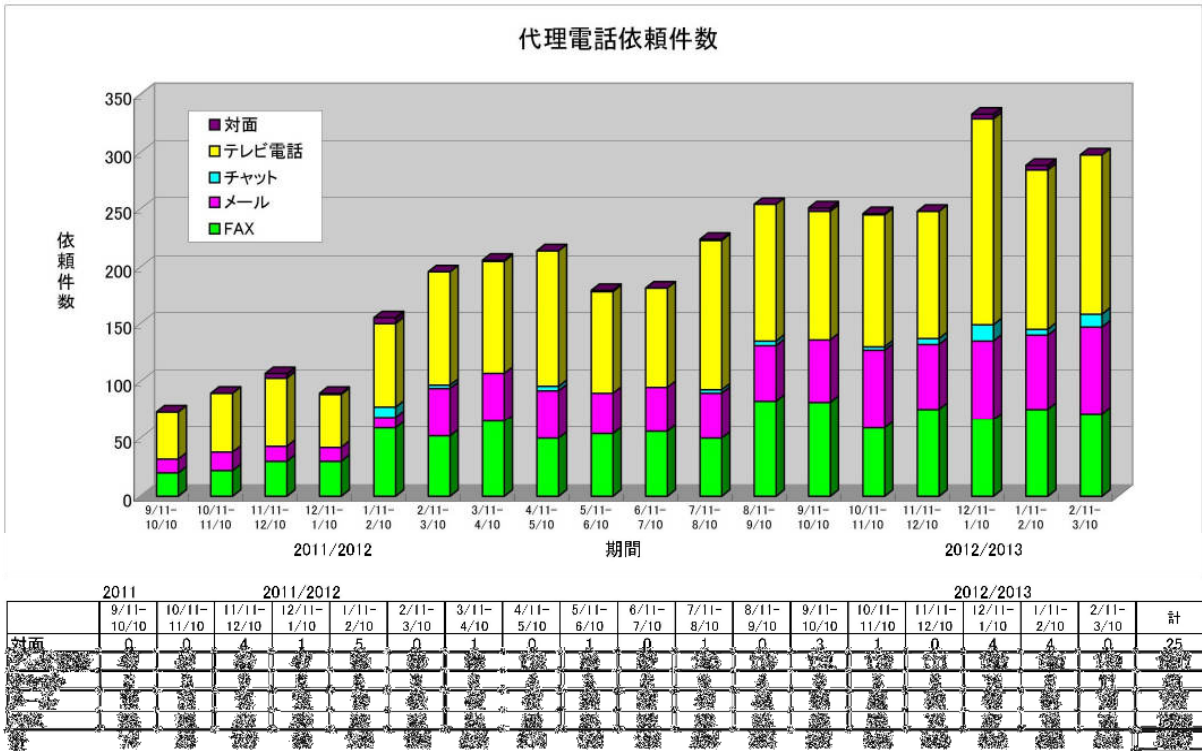


代理電話 利用手段別依頼件数

利用手段	件数	割合
対面	25件	0.7%
テレビ電話	1811件	49.8%
チャット	61件	1.7%
メール	737件	20.3%
FAX	1003件	27.6%
計	3637件	100.0%

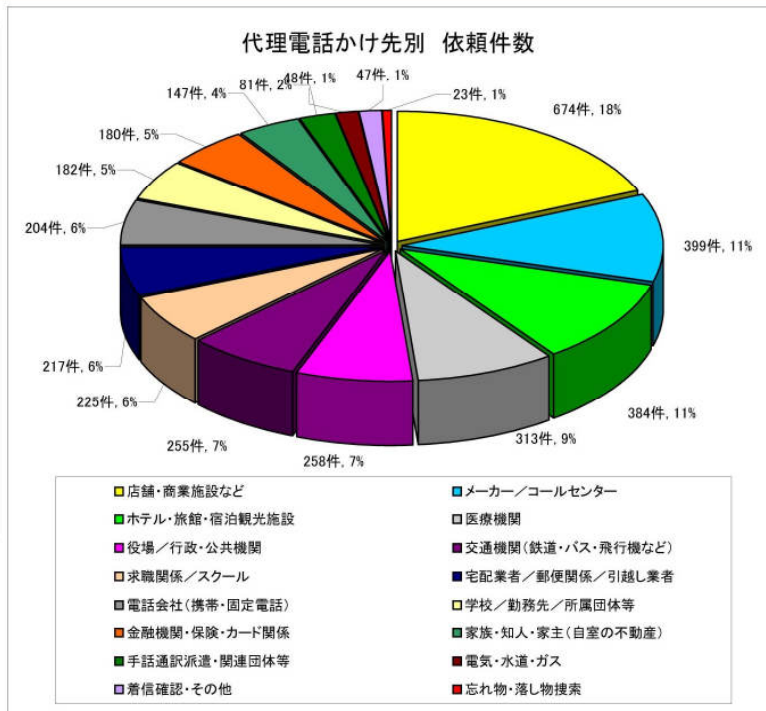


代理電話依頼件数

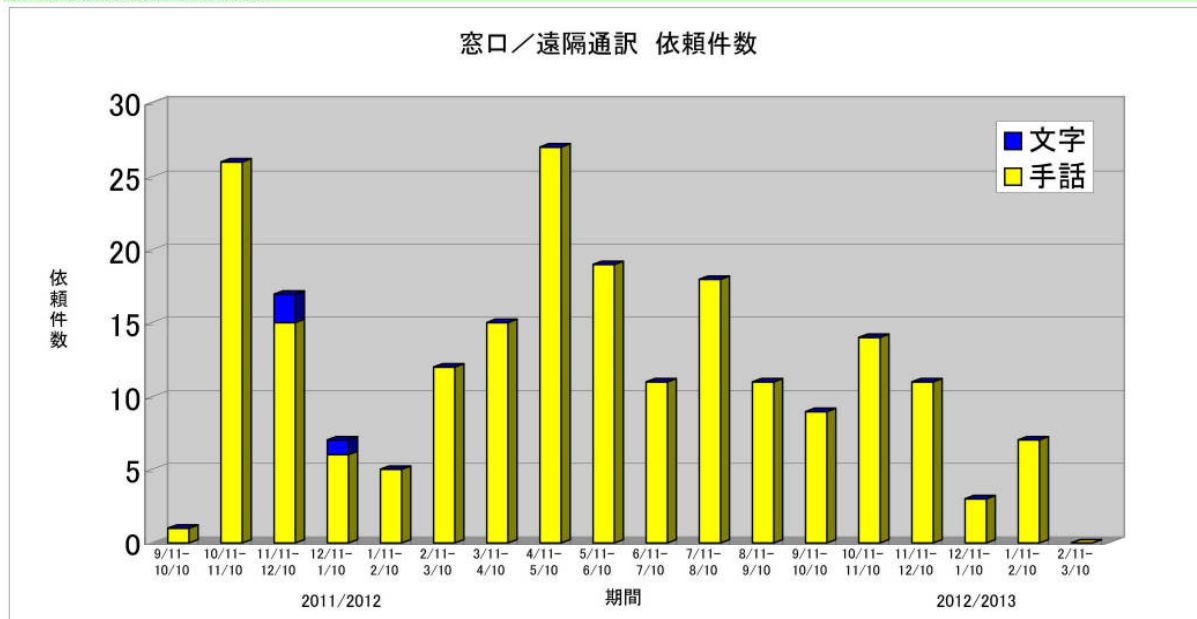


代理電話かけ先別 依頼件数

代理電話かけ先	件数	割合
店舗・商業施設など	674件	18.5%
メーカー／コールセンター	399件	11.0%
ホテル・旅館・宿泊観光施設	384件	10.6%
医療機関	313件	8.6%
役場／行政・公共機関	258件	7.1%
交通機関(鉄道・バス・飛行機など)	255件	7.0%
求職関係／スクール	225件	6.2%
宅配業者／郵便関係／引越し業者	217件	6.0%
電話会社(携帯・固定電話)	204件	5.6%
学校／勤務先／所属団体等	182件	5.0%
金融機関・保険・カード関係	180件	4.9%
家族・知人・家主(自室の不動産)	147件	4.0%
手話通訳派遣・関連団体等	81件	2.2%
電気・水道・ガス	48件	1.3%
着信確認・その他	47件	1.3%
忘れ物・落し物捜索	23件	0.6%
計	3637件	100.0%



窓口／遠隔通訳 依頼件数

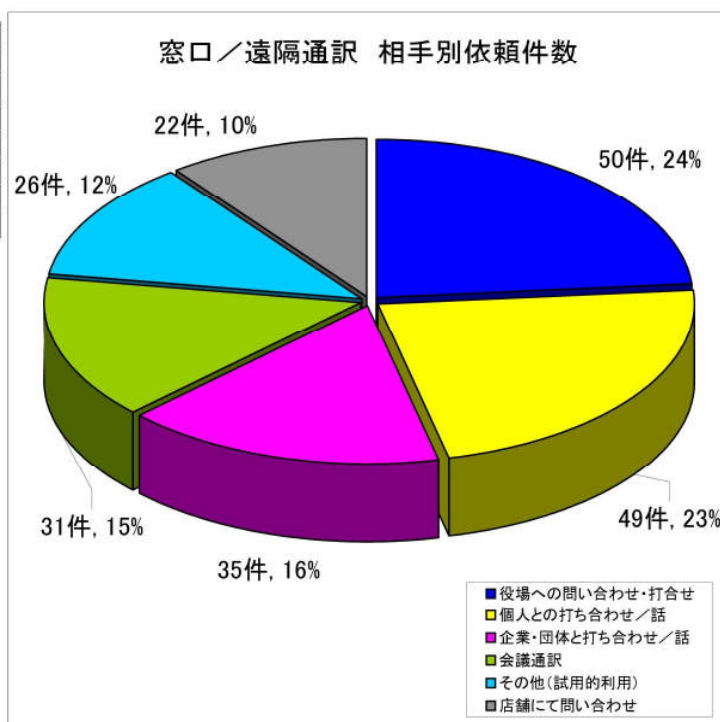


	2011			2011/2012												2012/2013			計
	9/11-10/10	10/11-11/10	11/11-12/10	12/11-1/10	1/11-2/10	2/11-3/10	3/11-4/10	4/11-5/10	5/11-6/10	6/11-7/10	7/11-8/10	8/11-9/10	9/11-10/10	10/11-11/10	11/11-12/10	12/11-1/10	1/11-2/10	2/11-3/10	
文字	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
手話	1	26	15	6	5	12	15	27	19	11	18	11	9	14	11	3	7	0	210
計	1	26	17	7	5	12	15	27	19	11	18	11	9	14	11	3	7	0	213

窓口／遠隔通訳 相手別依頼件数

※件数には、役所・公共機関に貸与した端末の他、ボランティア活動の個人へ貸与した端末、および個人所有で利用登録された方の端末からの依頼を含みます。

窓口／遠隔通訳 相手別依頼件数	件数	割合
役場への問い合わせ・打合せ	50件	23.5%
個人との打ち合わせ／話	49件	23.0%
企業・団体と打ち合わせ／話	35件	16.4%
会議通訳	31件	14.6%
その他(試用的利用)	26件	12.2%
店舗にて問い合わせ	22件	10.3%
計	213件	100.0%



## 日本財団 遠隔情報・コミュニケーション支援事業 遠隔手話・文字通訳窓口支援端末設置場所

2012年8月23日現在

**岩手県立視聴覚障がい者情報センター**  
(盛岡市盛岡駅西通り一丁目7番1号アイーナ4F)

**JDF岩手支援本部**  
＜岩手県障がい者社会参加推進センター＞  
(盛岡市三本柳8-1-3 ふれあいランド内)

**花巻市役所**  
＜生活福祉部地域福祉課＞  
(岩手県花巻市花城町9-30)

**陸前高田市役所**  
＜社会福祉課障がい福祉係＞  
(陸前高田市高田町字鳴石42番地5)

**仙台市民活動サポートセンター**  
(宮城県仙台市青葉区一番町四丁目1-3)

**せんだいメディアテーク**  
(宮城県仙台市仙台市青葉区春日町2-1)

**みやぎ被災聴覚障害者情報支援センター**  
＜愛称：みみサポみやぎ＞  
(宮城県仙台市宮城野区萩野町1-11-1 萩野町Mビル3F)

**山元町役場**  
＜保健福祉課＞  
(宮城県亶理郡山元町浅生原字作山32)

**二本松市役所**  
＜福祉部福祉課＞  
(福島県二本松市金色403番地1)

**田村市役所**  
＜保健福祉部介護福祉課＞  
(福島県田村市船引町船引字馬場川原20)

**洋野町種市庁舎**  
＜福祉課社会福祉係＞  
(岩手県九戸郡洋野町種市23-27)

**久慈市役所**  
＜社会福祉課障害グループ＞  
(岩手県久慈市川崎町1番1号)

**普代村役場**  
＜住民福祉課＞  
(岩手県下閉伊郡普代村第9地割字銅屋13-2)

**釜石市役所**  
＜地域福祉課障がい福祉係＞  
(岩手県釜石市大渡町3-15-26)

**大船渡市役所**  
＜保健福祉課障害福祉係＞  
(岩手県大船渡市盛町字津野沢15)

**石巻市役所**  
＜障害福祉課＞  
(宮城県石巻市穀町14番1号)

**松島町役場**  
＜町民福祉課福祉班＞  
(宮城県松島町高城字町10番地)

**亶理町役場**  
＜福祉課＞  
(宮城県亶理郡亶理町字下小路7-4)

**相馬市役所**  
＜健康福祉課障がい福祉係＞  
(福島県相馬市中村字大手先13)

**南相馬市役所**  
＜社会福祉課障がい福祉係＞  
(福島県南相馬市原町区本町2-27)

**白河市役所**  
＜社会福祉課＞  
(福島県白河市字八幡小路7-1)

この他にも下記の団体に端末を貸与しています。

**岩手県ろうあ協会**  
(盛岡市三本柳13地割42番1号)

**宮城県ろうあ協会**  
(仙台市宮城野区幸町4-6-2 宮城県障害者福祉センター内)

**宮城県立聴覚支援学校**  
(宮城県仙台市太白区八本松2-7-29)

**福祉支援カフェ「NONOKA」**  
(宮城県気仙沼市南が丘102-5 復幸小町仮設店舗内)

**福島県聴覚障害者協会**  
(福島市渡利字七社宮111 県総合社会福祉センター内)

岩手県、宮城県、福島県にお住まいの聴覚障害者のみなさま  
上記の場所に聴覚障害者用の遠隔通訳支援端末を設置してあります。  
窓口を訪問の際に、テレビ電話による手話通訳、文字通訳を無料でご利用になれます。  
ちょっとした質問などに窓口を訪れる際にはぜひご活用ください。

※本サービスは従来の手話通訳派遣制度に代わるものではありません。  
あらかじめ予定のはっきりしている場合や長時間にわたる通訳依頼に関しては、お住まいの市町村の手話通訳・要約筆記派遣制度をご利用下さい。

☆☆ お問い合わせなど、お気軽にこちらへ！ ☆☆

東日本大震災被災地聴覚障害者向け 日本財団 遠隔情報・コミュニケーション支援センター  
〒107-8404 東京都港区赤坂1丁目2番2号(日本財団ビル2F)  
電話: 0120-522-499 FAX: 0120-522-899 E-mail: nf-support@plusvoice.jp WEBサイト <http://plusvoice.jp/nf-support/> 運営: 株式会社プラスヴォイス

※本サービスのご提供は2013年3月31日までを予定しております。

## 【震災に関連した利用事例】

- 1 被災した実家を解体するのに業者に FAX したが返事がないので問い合わせ。
- 2 東日本大震災聴覚障害者救援地域本部に義援金申込の問合せ／被災証明書の提出について。
- 3 タクシー会社へ被災者無料利用のタクシーについて問い合わせと予約。
- 4 NEXCO 東日本に 12 月からの高速道路無料化制度の変更点について問い合わせ。
- 5 被災廃棄物対策室に問い合わせ。
- 6 仮設住宅に入居の際に水回りに異常があり、役所の担当部署と業者に修理依頼。
- 7 NEXCO 東日本に高速道路の無料化区間と期間の問い合わせ。
- 8 不動産業者へ被災時に住んでいたアパートの解約の際の敷金返却時期の問い合わせ。
- 9 建設業者へ解体証明書郵送の督促。
- 10 医療費無料の使用方法的の問合せの来庁者対応（窓口通訳）。
- 11 健康福祉局 保険高齢部 保険年金課に国民健康保険一部負担免除が  
いつまで延長になったのか確認。
- 12 東京電力福島原子力補償相談室へ、「自主的避難等に係る賠償金ご請求書」について。  
問い合わせ。
- 13 東京電力(株)福島原子力補償相談室へ賠償申請手続き書類作成についての再問合せ。
- 14 東京電力 自主的避難等ご相談専用ダイヤルへ賠償請求の有無について問い合わせ。
- 15 義援金等相談ダイヤルへ、障害者世帯の義援金受給について問い合わせ。
- 16 仮設住宅の申込で、他の候補はあるかどうか問い合わせ。
- 17 仮設住宅で、自分でアパートを借りた場合に扱いがどうなるか問い合わせ。
- 18 仮設住宅入居のための物品、設備の手配（役所へ依頼）。
- 19 仮設住宅入居のための物品の手配（個別業者・・・電気、ガス、家電生活用品、畳屋、  
電話会社へ依頼）。
- 20 仮設住宅入居時の物干し台の不具合について管理会社に連絡。
- 21 ETC（およびカード）が津波で流されてしまったので再登録の手続き（遠隔通訳）。
- 22 震災後の生活の聞き取り調査（遠隔通訳）。
- 23 災害公営住宅入居についての意向調査の書き方について。
- 24 災害公営住宅アンケートについて問合せ。
- 25 東京電力福島原子力補償相談所へ賠償金未払いの問合せ。
- 26 災害情報メールの登録方法問い合わせ。
- 27 工事担当者へ、解体工事の粉じんに関する苦情。
- 28 現地にボランティアスタッフとして入った際のミーティング打ち合わせ（遠隔通訳）。
- 29 震災で閉じていた公民館に再開時期の問い合わせ。
- 30 震災で休会していた手話サークルの活動状況の問い合わせ。
- 31 仮設に入居している場合に、年金登録の住所変更が必要か問合せ（遠隔通訳）。
- 32 震災の経験を取材にきた海外の学生にろう者の体験談を通訳（遠隔通訳）。
- 33 緊急通報見守りサービス（応急避難生活者対象）についての問合せ。
- 34 仮設住宅あての書類について問合せ。



【利用者の声】 よく使っていただいている 5 名の方にインタビューを行いました。

<岩手県一関市在住 K さん (男性)・主にテレビ電話にて利用>

代理電話は支援事業が始まる前から使っていました。ただ、数社使ったことがあります、今が一番安心して使えています。前は突然トラブルがあったり、会社が倒産していたり等ありましたが、今はそんなことがないのが一番安心です。



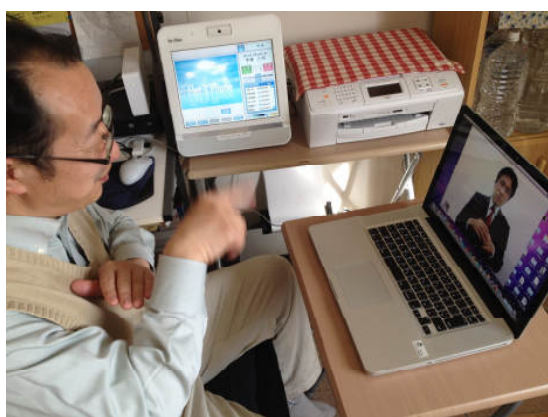
代理電話がなかった時はだいたい親に頼んでいましたが、親に頼んでも、内容がすごく少なく伝わってきて、よくわからないこともありましたが、あとは自分で友達に頼んだりもしましたが、やっぱり代理電話を使って自分のできる方がいいですね。

一番役に立っているのは、飲食店の予約とか、ホテルの予約。これがとっても気軽にできるので楽です。あと、うちは夫婦で使ってるから、銀行とかカードとかの連絡にも使えてとても便利です。また、趣味の車のこととか、いろいろ使えて本当に役に立っています。使っていて、ちょっと変えて欲しいこととか、その場でオペレーターに伝えて対応してもらっているのも特に不便はありません。今後もぜひ続けてもらいたいです。



<宮城仙台市在住 K さん (男性)・主にテレビ電話にて利用/iPad で遠隔通訳にも活用>

代理電話は以前から使っていましたが、震災後、無料化になって使う回数は格段に増えました。やはり無料である分非常に気軽に使い易いです。主には、相手先にメールを送った時にその確認などに代理電話を使っていますが、簡単に確認もできるので、メールに漏れがあったりどうこうをさほど気にせず済むようになりました。



宅配の不在票などの場合には、前は親、結婚後は奥さんに頼んでいましたが、奥さんがいない場合には連絡手段がありません。代理電話があるとやはり便利です。

遠隔通訳はスタッフの方にお勧めいただいたので使おうと思ってから始めました。自分の場合、団体としても活動しているので、あれこれ交渉をしたりするのに非常に便利でした。

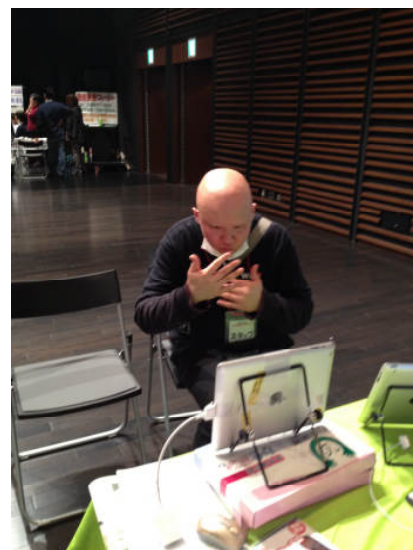
今後も使いたいし、やはり国の制度としても確立してほしいですね。無料とは言わないまでも妥当な金額で使えるような制度が必要です。

### <宮城仙台市在住 Bさん（男性）・主にテレビ電話／チャットにて利用>

財団の支援が始まる前は代理電話を使ったことはありません。親や友人に頼んでいましたが、そもそも手話ができる人も少なく、なかなか伝えたいことを伝える、あるいは伝えてもらうのに苦労をしました。

代理電話を使って役に立ったのは、自分はいろいろな人から相談を受けて代理電話をしたり、また自分の相談も電話で伝えられるので非常に便利です。ホテルやお店の予約ができるのも便利です。代理電話がなかったら、それらのことを人をお願いしなければいけなかったのが大変でした。本当に代理電話があって便利になりました。今後も、1年と言わず、ずっと続いて欲しいです。

また、お年寄りとかのために、「代理電話スポット」のような代理電話ができる場所があればいいと思います。みんながiPadやパソコンを持っているわけではなく、また高齢者は機器を使いこなすのも難しかったり、FAXやメールで文章を書けない者も多いので、どこかスポットに行って手話で話して電話出来るとか、そういうふうになればいいと思います。



### <宮城県石巻市在住 Mさん（男性）・主にテレビ電話にて利用／iPadで遠隔通訳にも活用>

健聴の姉がいますが、財団の支援が始まる前にも電話を頼んだことはありません。1ヶ月に1回くらい通訳の人に病院の予約とかをお願いしていました。

今では週に2, 3回、多いときは毎日とか代理電話サービスを利用しています。やはりテレビ電話で話せて便利だから、使います。とても簡単だし。あと、前に使ってなかった用事でも使うようになりました。役所の手続きとか、仕事の連絡とか。生活はあきらかに変わったと思います。今は、つながる安心、誰かに相談できる安心があります。

もし、有料でも使いたいとは思いますが、有料だと回数は減るかもしれません。ろう者としては、情報がないことが困りますね。健聴者と通じないですし、通訳もすぐには頼めませんし。コミュニケーションが難しい。この事業がずっと、10年は続いて欲しいですね。

### <福島県いわき市在住 Nさん（女性）・主にメールにて利用>

支援事業が始まる前は、健聴の友達にお願いして電話してもらっていましたが、メールやFAXをしても、すぐではなく、何時間後かに返事が来たりなので、緊急の時は間に合わなかったですね。

宅配の再配達を頼むことが多いですが、不在票には、ほとんど「ドライバーに携帯電話で連絡下さい」と載せられているので、連絡したくても、電話が出来ない。ネットとかFAXだと、再配達は翌日になってしまいます。代理電話を使えて本当に便利になりました。また、外出の時、何か連絡したいときも代理電話をお願いするのも便利ですし、助かります。

今後も私にとってこの支援事業は必要です。家族全員聞こえないので、代理電話をお願い出来て、スムーズに連絡とれますし、内容も分かりやすく、安心しています。

## 【取り上げて頂いたメディアの一覧】

### 新聞掲載

#### 全国紙

毎日新聞 2011年9月10日付朝刊 / 読売新聞 2011年9月11日付朝刊

#### 地方紙

岩手日報 2011年11月24日付朝刊

デイリー東北 2011年11月24日付朝刊、2012年2月4日付朝刊

河北新報 2012年2月3日付朝刊、2012年2月6日付朝刊

高知新聞 2012年2月4日付朝刊 / 中部経済新聞 2012年2月4日付朝刊

東奥日報 2012年2月4日付朝刊 / 徳島新聞 2012年2月4日付朝刊

福島民報 2012年2月4日付朝刊 / 山陰中央新報 2012年2月4日付朝刊

京都新聞 2012年2月6日付朝刊 / 山梨日日新聞 2012年2月6日付朝刊

信濃毎日新聞 2012年2月6日付夕刊 / 山形新聞 2012年2月7日付朝刊

静岡新聞 2012年2月7日付朝刊 / 熊本日新聞 2012年2月8日付朝刊

愛媛新聞 2012年2月11日付朝刊 / 大分合同新聞 2012年2月11日付夕刊

山陽新聞 2012年2月13日付夕刊

北国新聞 2012年2月13日付夕刊

新潟日報 2012年2月19日付朝刊

室蘭民報 2012年2月21日付朝刊

神戸新聞 2012年3月25日付朝刊

東海新報 2012年5月12日付朝刊

福島民友 2012年5月24日付朝刊

石巻日々新聞 2012年5月28日付朝刊



#### 業界紙／ミニコミ紙

・福祉新聞 2011年9月19日付掲載

・岩手県立視聴覚障がい者情報センター情報紙「ぷちたぺ」2011年11月号掲載

(紙面とWEBサイトの動画)

・ミニコミ紙ぶんぶん (松島佐藤新聞店ぶんぶん編集部発行) 2012年5月13日号掲載

・気仙市民復興連絡会「復興ニュース」(NPO法人夢ネット大船渡)

2012年5月25日発行第66号掲載

・夕刊たなぐら新聞 2012年5月31日(木)付掲載

・仮設きずな新聞(石巻) 2012年6月1日号掲載

・仙台市市民活動サポートセンター「震災復興支援活動情報 サポセンかわら版」

2012年6月11日号(vol.26)掲載

・いちのせき市民活動センターニュースレター「idea」 2012年7月25日号掲載

## ラジオ放送

- ・宮城県山元町臨時災害 FM りんごラジオ にて  
2012年3月5日からほぼ毎日、Twitterでの文字情報配信についてアナウンス
- ・宮城県仙台市 コミュニティ FM fm いずみ にて 2012年4月30日放送
- ・福島県南相馬市 臨時災害 FM みなみそうま災害 FM にて2012年4月30日放送
- ・宮城県塩竈市 臨時災害 FM BAY WAVE にて2012年5月7日から数日間放送
- ・宮城県亘理町 臨時災害 FM FM あおぞら にて 2012年5月22日放送

### [臨時災害FMでよびかけを行ったチラシ]

放送・メディア関係者各位

## あなたの声が届いていない人がいます…

東日本大震災の混乱のさなか、頼りになるメディアとしてラジオが大きく見直されました。コミュニティFMなどは、地域に密着した情報で多くの人に有益な情報をもたらしました。しかし、ラジオによる音声情報では耳が聞こえない・聞こえにくい方々にはその声が届いていないために、それらの情報を逃してしまった方々もいます。ラジオだけではなく、緊急の放送やサイレン、またテレビの音声も聞こえない人には届いていません。音声情報では伝わらないものがあるのです。もし、あなたが聞こえなかったら…災害時、避難の警報が聞こえなかったら、避難をすることができますか？

### 日本財団 東日本大震災被災地聴覚障害者向け 遠隔情報・コミュニケーション支援事業

私たちは東日本大震災の後、被災地の聴覚障害者（耳の聞こえない・聞こえにくい方々）の支援をするため、日本財団の事業として、東京のセンターにおいて、聞こえない人に代わって電話をする代理電話サービスや、遠隔によるテレビ電話を使った手話・文字通訳サービスを提供する傍ら、文字情報提供サービスとして、宮城県山元町の臨時災害FM「りんごラジオ」をサイマルラジオというインターネットラジオで聞いて、文字情報に変換してツイッターやインターネットに配信し、聞こえない人に届ける、というサービスを行なってきました。

しかし、もっと多くのメディアの情報を文字化提供できればいいのですが、情報をすべて文字化するのはとても大変な作業です。では、届かない情報をあきらめるのか？ いいえ、もっと簡単な方法があります。

あなたが一言「この情報は耳の聞こえない・聞こえにくい方々に届いていない可能性があります。もしご近所、お知り合いに耳の聞こえない・聞こえにくい方がいらっしゃいましたら、ぜひこの情報を教えてあげてください」と付け加えていただければ、きっと広がっていくと思います。一日一回だけでもいいです。ぜひ一言、付け加えてみてください。あなたの声が届かなかった人たちにも、届けられるように、伝えることをお願いしてみてください。

## …伝えてあげてください。あなたの声を

日本財団 東日本大震災被災地聴覚障害者向け 遠隔情報・コミュニケーション支援事業

〒102-8404 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 2階  
TEL:0120-522-499 FAX:0120-522-899 E-mail:nf-support@plusvoice.jp  
WEB サイト <http://plusvoice.jp/nf-support/>



## テレビ放送

日本テレビ系列

『News Every.』 2012年3月14日放送（同内容で3月16日ミヤギテレビにて放送）

## 【パンフレット設置にご協力いただいた場所】

### 【岩手県・役所／公共機関】

- 1 ★洋野町役場 種市庁舎 様 (岩手県九戸郡洋野町種市 23-27)
- 2 ★洋野町役場 大野庁舎 様 (岩手県九戸郡洋野町大野 8-47-2)
- 3 ★二戸市役所 市民生活部 市民課 様 (岩手県二戸市福岡字川又 47)
- 4 ★二戸市総合福祉センター 様 (岩手県二戸市福岡字八幡下 11-1)
- 5 ★軽米町健康ふれあいセンター 健康福祉課 様 (岩手県九戸郡軽米町軽米第 2 地割 54 番地 5)
- 6 ★九戸村役場 住民生活課 様 (岩手県九戸郡九戸村大字伊保内第 10 地割 11 番地 6)
- 7 ★一戸町 総合保健福祉センター 様 (岩手県二戸郡一戸町一戸砂森 93-2)
- 8 ★久慈市役所 久慈市福祉事務所 社会福祉課 様 (岩手県久慈市川崎町 1-1)
- 9 ★野田村役場 住民福祉課 様 (岩手県九戸郡野田村大字野田 20-14)
- 10 ★野田村社会福祉協議会 様 (岩手県九戸郡野田村大字野田 20-38-5)
- 11 ★岩泉町役場 社会福祉室 様 (岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字惣畑 59-50194-22-2111)
- 12 ★岩手町役場 健康福祉課 様 (岩手県岩手郡岩手町大字五日市第 10 地割 44)
- 13 ★滝沢村役場 健康福祉部福祉課 様 (岩手県岩手郡滝沢村鶴飼字中鶴飼 55)
- 14 ★雫石町役場 福祉課 様 (岩手県岩手郡雫石町千刈田 5-1)
- 15 ★八幡平市役所 福祉部 地域福祉課 様 (岩手県八幡平市大更 35-62)
- 16 ★いわて障がい福祉復興支援センター 様 (岩手県盛岡市津志田西 2 丁目 3-25)
- 17 ★盛岡市役所 保健福祉部障がい福祉課 (岩手県盛岡市内丸 12-2)
- 18 ★盛岡市社会福祉協議会 様 (岩手県盛岡市若園町 2-2)
- 19 ★宮古市中央公民館 様 (岩手県宮古市築地一丁目 3 番 9 号)
- 20 ★宮古市役所 保健福祉部 福祉課 様 (岩手県宮古市新川町 2-1)
- 21 ★宮古市社会福祉協議会 様 (岩手県宮古市小山田 2-9-20)
- 22 ★山田町役場 健康福祉課 様 (岩手県下閉伊郡山田町八幡町 3-20)
- 23 ★山田町社会福祉協議会 様 (岩手県下閉伊郡山田町八幡町 3-20)
- 24 ★大槌町役場 (仮庁舎) 福祉課 様 (岩手県上閉伊郡大槌町上町 1 番 3 号)
- 25 ★大槌町社会福祉協議会 様 (岩手県上閉伊郡大槌町上町 1-1)
- 26 ★西和賀町役場 湯田庁舎 様 (岩手県和賀郡西和賀町川尻 40-40-71)
- 27 ★西和賀町役場 沢内庁舎 保健福祉課 様 (岩手県和賀郡西和賀町沢内字太田 2 地割 8 1 - 1)
- 28 ★普代村役場 住民福祉課 様 (岩手県下閉伊郡普代村第 9 地割字銅屋 13-2)
- 29 ★田野畑保健センター 様 (岩手県下閉伊郡田野畑村田野畑 120-1)
- 30 ★花巻市役所 生活福祉部地域福祉課 様 (岩手県花巻市花城町 9-30)
- 31 ★岩手県遠野地区合同庁舎花巻保健福祉環境センター 様 (岩手県遠野市六日町 1-22)
- 32 ★遠野市総合福祉センター遠野市健康福祉部遠野健康福祉の里 福祉課 様 (岩手県遠野市松崎町白岩薬研淵 1-3)
- 33 ★遠野市社会福祉協議会 地域福祉課 様 (岩手県遠野市松崎町白岩薬研淵 1-3)
- 34 ★北上地区合同庁舎 様 (岩手県中部保健所北上分室：岩手県北上市芳町 2-8)
- 35 ★北上市役所 保健福祉部 福祉課 障がい福祉係 様 (岩手県北上市芳町 1-1)
- 36 ★しごとネットさくら 岩手中部障がい者就業・生活支援センター 様 (岩手県北上市本通り 2 丁目 1 番 10 号)
- 37 ★社会福祉法人北上市社会福祉協議会 様 (北上市総合福祉センター：岩手県北上市常盤台 2 丁目 1 番 63 号)
- 38 ★釜石市岩手県沿岸広域振興局 沿岸広域振興局保健福祉環境部 様 (岩手県釜石市新町 6-50)
- 39 ★釜石市身体障害者福祉センター 様 (岩手県釜石市上中島町 4 丁目 2 番 40 号)
- 40 ★釜石市役所本庁舎 保健福祉部 地域福祉課 様 (岩手県釜石市大渡町 3-15-26)
- 41 ★釜石市社会福祉協議会 地域福祉係 様 (岩手県釜石市大渡町 3-15-26)
- 42 ★釜石市役所第 1 庁舎 市民課 様 (岩手県釜石市只越町 3-9-13)
- 43 ★金ヶ崎町保健福祉センター障害福祉課 様 (岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根樋水 98)
- 44 ★金ヶ崎町本庁舎 様 (岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根南町 22-1)
- 45 ★奥州市役所 健康福祉部 福祉課 障がい福祉係 様 (岩手県奥州市水沢区大手町一丁目 1 番地)
- 46 ★奥州市役所 江刺総合支所 様 (岩手県奥州市江刺区大通り 1-8)
- 47 ★奥州市役所 江刺総合支所広瀬地区センター 様 (岩手県奥州市江刺区広瀬柿ノ木 443-4)
- 48 ★平泉町役場 保健センター 様 (岩手県西磐井郡平泉町平泉字志羅山 45-2)
- 49 ★住田町役場 保健福祉課 様 (岩手県気仙郡住田町世田米字川向 96-1)
- 50 ★大船渡市役所 生活福祉部保健福祉課 様 (岩手県大船渡市盛町字津野沢 15)
- 51 ★大船渡市社会福祉協議会 業務課 様 (岩手県大船渡市立根町字下欠 125-12)
- 52 ★大船渡市総合福祉センター 様 (岩手県大船渡市盛町字下館下 14-1)
- 53 ★陸前高田市役所 仮庁舎 民生部 社会福祉課 様 (岩手県陸前高田市高田町字鳴石 42-5)
- 54 ★陸前高田市社会福祉協議会 様 (岩手県陸前高田市高田町字鳴石 50-10)
- 55 ★一関市役所 社会福祉課 様 (岩手県一関市竹山町 7-2)
- 56 ★一関市役所 千厩支所 保健福祉課 様 (岩手県一関市千厩町千厩字北方 174)
- 57 ★一関市役所 川崎支所 保健福祉課 様 (岩手県一関市川崎町薄衣諏訪前 137)
- 58 ★一関市役所 室根支所 保健福祉課 様 (岩手県一関市室根町折壁八幡沖 345)
- 59 ★岩手県一関地区合同庁舎県南広域振興局 一関保健福祉環境センター 様 (岩手県一関市竹山町 7-5)

### 【岩手県・補聴器取扱店舗】

- 60 ★眼鏡市場久慈店 様 (岩手県久慈市長内町第 29 地割 14-6)
- 61 ★メガネ・時計・補聴器の阿部 様 (岩手県花巻市大通り 1 丁目 14-27)
- 62 ★メガネのアイブラザ 北上店 様 (岩手県北上市本通り 4-7-20)
- 63 ★メガネの松村 本店 様 (岩手県北上市本通り 2-3-43)

- 64 ★岩手リオン補聴器センター 水沢店 様 (岩手県奥州市水沢区中町 108)
- 65 ★メガネのシンド 様 (岩手県奥州市水沢区中町 23-33)
- 66 ★株式会社岩手リオン補聴器センター 様 (岩手県盛岡市盛岡駅前通 8-14)
- 67 ★メガネ パリ ミキ 盛岡中央店 様 (岩手県盛岡市中野 1 丁目 4 番 1 号)
- 68 ★みみ Fit+補聴器 1 番館<補聴器相談支援センター岩手>様 (岩手県盛岡市高松 3 丁目 11-25)
- 69 ★新日本補聴器センター 盛岡店 様 (岩手県盛岡市本町通 3 丁 20-25-101)
- 70 ★メガネクラブ 青山店 様 (岩手県盛岡市青山 4 丁目 45-19)
- 71 ★メガネの松田 青山店 様 (岩手県盛岡市月が丘 1-5-10<シテイ青山となりそば>)
- 72 ★メガネの松田 都南店 様 (岩手県盛岡市三本柳 5 地割 25-14<旧サティそば>)
- 73 ★盛岡補聴器センター 様 (岩手県岩手郡滝沢村滝沢穴口 463-11)
- 【宮城県・役所／公共機関】
- 74 ★気仙沼市社会福祉事務所 様 (宮城県気仙沼市八日町 1-1-1)
- 75 ★気仙沼市障害者生活 支援センター (保健福祉事務所) 様 (宮城県気仙沼市東新城三丁目 3-3)
- 76 ★松岩公民館 様 (宮城県気仙沼市字松崎浦田 143-1)
- 77 ★南三陸町仮庁舎 健康福祉課 様 (宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田 56)
- 78 ★大崎市役所 民生部 社会福祉課 様 (宮城県大崎市古川七日町 1-1)
- 79 ★蛇田公民館 様 (宮城県石巻市蛇田字上中塚 26)
- 80 ★石巻市役所 様 (宮城県石巻市穀町 14 番 1 号)
- 81 ★東松島市役所 社会福祉事務所 (保健福祉部福祉課係) 様 (宮城県東松島市矢本字上河戸 36-1)
- 82 ★東松島市社会福祉協議会 様 (宮城県東松島市小松字上浮足 252-3)
- 83 ★松島町社会福祉協議会 様 (宮城県宮城郡松島町 根廻字上山王 6-27)
- 84 ★利府町保健福祉センター 様 (宮城県宮城郡利府町青葉台一丁目 32 番地)
- 85 ★利府町社会福祉協議会 様 (宮城県宮城郡利府町中央 2 丁目 11-1)
- 86 ★利府町役場 教育委員会生涯学習課 様 (宮城県宮城郡利府町中央 2 丁目 11-2)
- 87 ★多賀城市役所 保健福祉部 社会福祉課 様 (宮城県多賀城市中央 2 丁目 1-1)
- 88 ★多賀城市社会福祉協議会 様 (宮城県多賀城市中央 2 丁目 1-1)
- 89 ★仙台市役所 宮城野区市民センター中央市民センター 様 (宮城県仙台市宮城野区榴岡 4 丁目 1-8)
- 90 ★仙台市社会福祉協議会 中核支えあいセンター 様 (宮城県仙台市青葉区五橋 2-12-2)  
管轄内の市民センター等 22 箇所の情報コーナーに置いて頂きました。
- 91 ★仙台市太白区秋保総合支所 保健福祉課 様 (宮城県仙台市太白区秋保町長袋原 45-1)
- 92 ★若林区役所 仙台市若林区保健センター 障害高齢課 様 (宮城県仙台市若林区保春院前 3-1)
- 93 ★宮城野区役所 保健福祉センター 障害高齢課 様 (宮城県仙台市宮城野区五輪 2-12-35)
- 94 ★宮城県障害者福祉センター<社会福祉法人 宮城県身体障害者福祉協会>(宮城県仙台市宮城野区幸町 4 丁目 6-2)
- 95 ★大郷町役場 保健福祉課 様 (宮城県黒川郡大郷町粕川字西長崎 5-8)
- 96 ★大和町役場 保健福祉課 保健福祉総合センター様 (宮城県黒川郡大和町吉岡字西松木 1-1)
- 97 ★川崎町健康福祉センター 宮城県川崎町保健福祉課 様 (宮城県柴田郡川崎町大字前川字北原 23-1)
- 98 ★川崎町社会福祉協議会 様 (宮城県柴田郡川崎町大字前川字北原 23-1)
- 99 ★白石市役所 本庁舎 市民課 様 (宮城県白石市大手町 1-1)
- 100 ★白石市総合福祉センター 白石民生部福祉事務所 様 (宮城県白石市福岡蔵本字茶園 62-1)
- 101 ★白石市社会福祉協議会 様 (宮城県白石市福岡蔵本字茶園 62-1)
- 102 ★七ヶ宿町役場 保健福祉課 様 (宮城県刈田郡七ヶ宿町字関 126)
- 103 ★蔵王町地域福祉センター 保健福祉課 様 (宮城県刈田郡蔵王町大字円田字愛宕前 33)
- 104 ★七ヶ浜町役場 地域福祉課 様 (宮城県宮城郡七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺 5-1)
- 105 ★七ヶ浜町社会福祉協議会 様 (宮城県宮城郡七ヶ浜町汐見台 7 丁目 8-153)
- 106 ★塩竈市社会福祉事務所 障害福祉係 様 (宮城県塩竈市本町 1-1)
- 107 ★岩沼市役所 保健福祉部社会福祉課 様 (宮城県岩沼市桜 1-6-20)
- 108 ★村田町役場 健康福祉係 様 (宮城県柴田郡村田町大字村田字迫 6)
- 109 ★柴田町役場 船迫生涯学習センター 様 (宮城県柴田郡柴田町西船迫 3-3-104)
- 110 ★柴田町役場 福祉課 様 (宮城県柴田郡柴田町船岡中央 2-3-45)
- 111 ★柴田町地域福祉センター 社会福祉協議会 様 (宮城県柴田郡柴田町大字船岡字中島 68)
- 112 ★船岡公民館 様 (宮城県柴田郡柴田町船岡東 1 丁目 2-65)
- 113 ★大河原町役場 中央公民館 様 (宮城県柴田郡大河原町 196)
- 114 ★大河原町役場 保健福祉課 様 (宮城県柴田郡大河原町字新南 19)
- 115 ★大河原町社会福祉協議会 様 (宮城県柴田郡大河原町字南 69)
- 116 ★亘理町役場 福祉課 様 (宮城県亘理郡亘理町字下小路 7-4) ※5/22 に遠隔通訳支援端末も設置
- 117 ★亘理町社会福祉協議会 様 (宮城県亘理郡亘理町字旧館 60-7)
- 118 ★角田市 総合保健福祉センター内市民福祉部社会福祉課 様 (宮城県角田市角田字柳町 35-1)
- 119 ★角田市社会福祉協議会 (地域福祉係) 様 (宮城県角田市角田字柳町 35-1)
- 120 ★山元町役場 保健福祉課 様 (宮城県亘理郡山元町浅生原字作田山 32 番地)
- 121 ★山元町役場 中央公民館 生涯学習課 様 (宮城県亘理郡山元町浅生原字日向 12-1)
- 122 ★山元町社会福祉協議会 やまもと復興応援センター 様 (宮城県亘理郡山元町浅生原字作田山 32 番地)
- 123 ★丸森町役場 保健福祉課 様 (宮城県伊具郡丸森町字鳥屋 120 番地)
- 124 ★丸森町社会福祉協議会 様 (宮城県伊具郡丸森町字鳥屋 一 20)
- 【宮城県・補聴器取扱店舗】
- 125 ★遠藤時計店 様 (宮城県黒川郡大郷町中村字遠多田 9-2)
- 126 ★メガネギャラントリー塩釜本店 様 (宮城県塩竈市海岸通 1-16)
- 127 ★有限会社 橋本商店<補聴器取扱店舗>様 (宮城県仙台市宮城野区原町 2-4-33)
- 128 ★大宮時計メガネ店 様 (宮城県名取市増田 4-1-11)
- 129 ★ナイスメガネ 様 (宮城県名取市手倉田八幡 267-1)
- 130 ★メガネ パリ ミキ 岩沼店 様 (宮城県岩沼市桜 1 丁目 6-34)

【福島県・役所／公共機関】

- 131 ★新地町役場 健康福祉課 様 (福島県新地町谷地小屋字樋掛田 30)
- 132 ★相馬市役所 保健福祉部 様 (福島県相馬市中村字大手先 13)
- 133 ★南相馬市合同庁舎 保健福祉事務所 様 (福島県南相馬市原町区錦町 1 丁目 30)
- 134 ★南相馬市役所 健康福祉部社会福祉課 様 (福島県南相馬市原町区本町二丁目 27)
- 135 ★南相馬市社会福祉協議会 地域福祉課 様 (福島県南相馬市原町区小川町 322-1)
- 136 ★須賀川市役所須賀川アリーナ 障がい福祉課 様 (福島県須賀川市牛袋町 5)
- 137 ★福島市役所 健康福祉部 障がい福祉課 様 (福島県福島市五老内町 3-1)
- 138 ★二本松市役所 福祉部福祉課 様 (福島県二本松市金色 403-1)
- 139 ★二本松福祉センター 様 (福島県二本松市亀谷 1-5-1)
- 140 ★浪江町(仮移転)役場 福祉こども課 様 (福島県二本松市郭内一丁目 196-1)
- 141 ★桑折町役場 庶務課 様 (福島県桑折町字東大隅 18)
- 142 ★国見町役場 保健福祉課 様 (福島県伊達郡国見町大字藤田字観月台 15)
- 143 ★国見町社会福祉協議会 様 (福島県伊達郡国見町大字藤田字観月台 15)
- 144 ★伊達市役所 健康福祉部 社会福祉課 様 (福島県伊達市保原町字舟橋 180)
- 145 ★北塩原村役場 住民課 様 (福島県耶麻郡北塩原村大字北山字姥ヶ作 3151)
- 146 ★喜多方市厚生会館 様 (福島県喜多方市字水上 6846)
- 147 ★喜多方市役所 市民部 社会福祉課 様 (福島県喜多方市字御清水東 7244-2)
- 148 ★湯川村役場 住民税務課 住民福祉係 様 (福島県河沼郡湯川村大字爰川字長瀬甲 875-5)
- 149 ★会津坂下町役場 様 (福島県河沼郡会津坂下町字市中三番甲 3662)
- 150 ★西会津町役場 健康福祉課 様 (福島県耶麻郡西会津町野沢字下小屋上乙 3261)
- 151 ★三島町役場 町民課 様 (福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350)
- 152 ★伊達市社会福祉協議会 地域福祉課 地域福祉課係 伊達支所 様 (福島県伊達市箱崎川端 7)
- 153 ★猪苗代町役場 様 (福島県猪苗代町字城南 100)
- 154 ★会津若松市役所 (第 2 庁舎) 健康福祉課 様 (福島県会津若松市栄町 5-17)
- 155 ★福島県会津保健福祉事務所 健康福祉部 保健福祉課 様 (福島県会津若松市追手町 7-40)
- 156 ★大熊町(仮移転)役場 様 (福島県会津若松市追手町 2 番 41 号)
- 157 ★郡山市障害者福祉センター 様 (福島県郡山市香久池一丁目 15-15)
- 158 ★郡山市役所 障がい福祉課 様 (福島県郡山市朝日一丁目 23-7)
- 159 ★富岡町役場 (仮移転庁舎) 健康福祉課 様 (福島県郡山市大槻町字西ノ宮 48-5)
- 160 ★西郷村役場 様 (福島県西白河郡西郷村大字熊倉字折口原 40)
- 161 ★西郷村文化センター 様 (福島県西白河郡西郷村大字熊倉字折口原 76-1)
- 162 ★白河市役所 社会福祉課 様 (福島県白河市字八幡小路 7-1)
- 163 ★泉崎村保健福祉総合センター<泉崎村役場保健福祉課> 様 (福島県西白河郡泉崎村泉崎山ヶ入 101)
- 164 ★中島村役場 保健福祉課 様 (福島県西白河郡中島村大字滑津字中島西 11-1)
- 165 ★石川町役場 石川町公民館 様 (福島県石川郡石川町高田 200-2)
- 166 ★石川町役場 保健福祉課 様 (福島県石川郡石川町字下泉 153-2)
- 167 ★矢祭町役場 健康福祉課 様 (福島県東白川郡矢祭町大字東館字館本 66)
- 168 ★棚町役場 保健福祉課 様 (福島県東白川郡塙町大字塙字大町三丁目 21)
- 169 ★棚倉町役場 健康福祉課 様 (福島県東白川郡棚倉町大字 棚倉字中居野 33)
- 170 ★本宮市役所 保健福祉部 社会福祉課 様 (福島県本宮市本宮字万世 212)
- 171 ★三春町社会福祉協議会 様 (福島県田村郡三春町南町 1)
- 172 ★三春町役場 保健センター<保健福祉課>様 (福島県田村郡三春町南町 26-1)
- 173 ★田村市役所 介護福祉課 様 (福島県田村市船引町船引字馬場川原 20)
- 174 ★小野町役場 健康福祉課 様 (福島県田村郡小野町大字小野新町字館廻 92)
- 175 ★川内村役場 保健福祉課 様 (福島県双葉郡川内村下川内坂シ内 133-5 複合施設ゆふね内)
- 176 ★平田村役場 健康福祉課 様 (福島県石川郡平田村大字永田字広町 34 平田村保健センター内)
- 177 ★平田村社会福祉協議会 様 (福島県石川郡平田村永田戸花 150 地域福祉センター内)
- 178 ★広野町役場 福祉環境グループ 様 (福島県広野町大字下北迫字苗代替 35)
- 179 ★いわき市役所 障害福祉課 様 (福島県いわき市平字梅本 21)
- 180 ★いわき市役所 勿来支所 保健福祉課 様 (福島県いわき市錦町大島 1 勿来・田人地域包括支援センター)
- 181 ★社会福祉法人 いわき市社会福祉協議会 様 (福島県いわき市平字菱川町 1-3 いわき市社会福祉センター内)
- 182 ★いわき市社会福祉協議会 勿来地区協議会 様 (福島県いわき市錦町大島 1)
- 183 ★福島県立聾学校平分校 様 (福島県いわき市平馬目字馬目崎 61)
- 184 ★鮫川村役場 住民福祉課 様 (福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿 39-5)

【福島県・補聴器取扱店舗】

- 185 ★メガネのはんがい 様 (福島県相馬市中村字新町 20-2)
- 186 ★ブルーム郡山店 様 (福島県郡山市堂前町 27-9)
- 187 ★郡山眼鏡院 様 (福島県郡山市中町 2-5)
- 188 ★F Sメガネのヨネクラ須賀川駅前本店 様 (福島県須賀川市塚田 13)
- 189 ★トミタ メガステージ須賀川店 様 (福島県須賀川市広表 5-1)
- 190 ★有限会社アオバ補聴器 様 (福島県福島市新町 8-42)
- 191 ★株式会社メガネの幸福堂 様 (福島県河沼郡会津坂下町市中三番 (字) 5)
- 192 ★株式会社ミミプラザ 新白河店 様 (福島県白河市新白河 1-38)
- 193 ★リュクレ石沢 (株式会社石沢) 本宮店 様 (福島県本宮市本宮字館町 169)
- 194 ★株式会社 あかまつ補聴器センター 様

## おわりに

東日本大震災から半年後の2011年9月11日に本事業を開始してから1年半が経ちました。開始当初は世界21ヵ国で公共サービスとして実施されている電話リレーサービスを無料提供すれば、岩手、宮城、福島三県の聴覚障害者約2万人のうち何割かの人に利用してもらえらるだろう、と考えていました。しかし、その見込みが正しくなかったことはすぐ明らかになりました。東北の土地柄ゆえITとの親和性が低かったのか、あるいは「遠隔通訳」という馴染みのない形態のためか敬遠されることも多く、サービスそのものを理解して頂くことに困難を伴うスタートとなりました。

また「震災後の復興で新しいことを始める余裕はない」といった声や、「地域の手話通訳設置も進んでいないのに、遠くからの支援を期待している場合ではない」といった厳しいご意見もいただきました。

そうした中、日本財団の役職員と本事業の運営にあたった(株)プラスヴォイスの皆さんが、現地ろう協会、難聴協会、市町村の方々のご支援も頂きながら、現地に赴いて頻りに説明会を開いたり、土地の方々に会ってお話をさせていただいたり、一丸となって努力を重ねた結果徐々に登録者・利用者も増えてきました。利用した方の多くからは「このサービスがあって良かった」と感謝・ねぎらいの言葉を頂くこともでき、また1年半の利用が代理電話3,637件、窓口/遠隔通訳213件にのぼったことを考えれば、被災地聴覚障害者の生活再建の一助になったのではないかと思います。

自然災害や緊急事態が起こった時に援助を求めるには日頃からの付き合い、コミュニケーションが大切だと多くの方が身を以て体験されたと思いますが、そのコミュニケーションの輪の中から障害者、特に聴覚障害者は置き去りにされがちです。「そこに聞こえない人がいること」を知ってもらうことが何より重要で、存在を知られていなければ「あの人はどうしているのか？」と心配されることもないでしょう。生活の幅を広げ日々つながりを作っていく時に代理電話を活用し電話をしたり、遠隔通訳を通して会話をさせていただくことができれば、より広くより深いつながりを作っていくことができるのではないのでしょうか。

私たちはITと通訳を上手く活用しながら共に支え合って暮らすことができる社会、そのような社会を目指した復興を可能にすることが本事業の意義ではないかと考えています。

東北地方の復興はまだまだこれからです。1年半を一つの区切りとして振り返り、東北が遠隔情報・コミュニケーション支援のモデルと言われるように、事業の質をさらに高めて継続して行きたいと思えます。

